

令和5年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立野崎小学校

作成日

令和6年(2024年)2月22日

1 教育目標

豊かな感性を身につけ、主体的に学習に取り組み、夢に向かってチャレンジする子どもを育てる。

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学調や県学テで記述式の正答率が県平均を上回る。 ○わかる授業や学ぶ楽しさを実感する授業の実践。(児童・教師90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校が楽しいと感じる。(児童90%) ○友だちとなかよくできている。(児童90%) ○いじめのない学校(児童100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝ごはんを食べている。(児童100%) ○休み時間には元気に運動場で遊んでいる。(児童90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭・地域・学校はそれぞれ連携し、協力している。(保護者90%) ○学校の教育活動や子どもの様子が保護者によく伝わる。(保護者90%)
重点目標に対する	<ul style="list-style-type: none"> ○学びあい、話し合い活動を重視した学習は、わかる授業実践には大切である。 ○家庭学習は、保護者との連携が大切である。 ○タブレット端末を活用した学習活動の充実を図ることは大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳・人権教育は大切である。充実した指導により、心優しい子どもたちの育成に努めて欲しい。 ○担任の先生は、子どもに寄り添った指導による学級経営を心がけて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣を身につけることは、心身の健康を保つ基礎となるものである。早寝、早起き、朝ごはんの確立に努めて欲しい。 ○寒い時期でも、元気に運動場で遊ぶことで体力づくりをすることは大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会を中心として、地域と保護者と学校が連携して、子どもたちを育む体制づくりをさらに推進する。 ○地域の方々が教育活動に参加できる、しやすい機会の持ち方の検討をし、協力・連携しながら子どもを育むことが大切である。
取組状況に対する	<ul style="list-style-type: none"> ○学習規律は、学習に集中する点において大切である。 ○家庭学習では、子どもが主体的に学ぼうとする学習習慣を身につけさせることが大切である。 ○タブレット端末を活用した授業の実践に向けた取り組みを充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケートを各学期に実施することにより、未然防止、早期発見につながり大切である。 ○登下校での地域の見守り隊、婦人会などの方との挨拶をとおして、優しい気持ちが育まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの体力低下が指摘されている。学校での体力づくり・健康づくりの取組の充実を図ることは大切である。 ○定期的に災害時の避難訓練をすることは大切である。いざというときに、行動できる子どもを育てて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校HP等を活用し、もっと学校の教育活動に関する情報を発信し、地域や保護者など関係者に伝えることが大切である。 ○地域の行事や活動についても、学校と連携し、子どもたちとの関わりを持つことが大切である。
取組の適切さの検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力の定着には、基礎タイムや放課後フォローアップタイムの時間に、基礎・基本問題の繰り返し学習を続けることが大切である。 ○読書活動の充実を図るには、更なる環境整備に取り組むことが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳や人権教育について、友だちを思いやる優しさや自尊感情を育む教育に力を入れて欲しい。 ○日々、地域の皆様のあたたかさに触れることにより、豊かな心は少しずつ育まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣が身につくにつれて、何事にも積極的になれる。これからも継続して欲しい。 ○食育という視点から、毎日、おいしい給食を作っていただき感謝いたします。 ○外遊びの機会を増やし、体力づくりをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校と地域が積極的に関わることにより、子どもたちに良い影響を与えることができる。 ○学校開放月間には、多くの地域の方々が、学校を訪れ見学されている。学校の様子がわかり、良い取り組みである。
改善年度に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一台のタブレット端末の効果的な活用のため、教材の精選と積極的な活用が大切である。 ○子どもが主体的に学ぼうとする学習習慣を身につけさせるため、家庭との連携・協力を図り、タブレット端末を活用するなど新しい取組が大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケートは、今後も定期的に複数回実施し、子どもの気持ちに寄り添った指導を心がけて欲しい。 ○あらゆる機会をとおして、豊かな心を育む教育に取り組んで欲しい。 ○今後も「学校が楽しい」と思える学校づくりをして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○玄関に掲示している「のぎきっ子スポーツ校内記録」を活用し、具体的な目標となる記録を示すのは、子どものやる気を起こさせるのにも良いことである。 ○今後とも災害や不審者の避難訓練や緊急時の下校指導についても、機会を捉え繰り返し取り組んで欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な行事で学校と地域の交流を深めることができれば、さらに地域全体で子どもたちを見守っていくことができる。 ○保護者と協力し、見守り活動をとおして安全対策など地域として支援できるところはしていきたい。 ○子どもの学校の様子をしっかり保護者に伝える努力をして欲しい。

3 その他のご意見

○今年度、学校行事への参加に制限がなくなり多くの地域の方々が来られていた。学校に対する期待のあらわれである。学校行事について、更なる工夫改善を行い、よりよいものとなる様、期待している。

○学校運営協議会が、もっと機能できるように計画・運営等で協力していきたい。学校と地域の連携を密にして『子どもたちのため』という一心のもと頑張っていきたい。

○大災害が起こる可能性が高くなってきている。地域の中における小学校の役割の重要性が増してきている。